

[砂川市義務教育学校建設]
市民意見収集会
～基本設計プランの方向性を確認しよう～
開催報告

1 開催概要

日時	令和5年5月22日（月）18:00～20:30
会場	砂川市地域交流センターゆう 「大ホール」
主催	砂川市教育委員会
参加者	30名
プログラム	<ol style="list-style-type: none">1 開会あいさつ2 オリエンテーション (1) 砂川市義務教育学校について (2) これまでの振り返り (3) 基本設計プランについて (4) 本日の進め方3 プランイメージタイム (1) 付箋記入（感想・質問） (2) 整備方針別意見ボードに付箋を貼ろう！4 意見交換5 閉会

2 当日の様子



プランの説明



模型を確認



平面プランを確認



みんなでプランを確認



ボードに付箋を集める



全体で質疑応答タイム

4 意見交換

1) 外部空間

「○」はご意見・感想、「→」は回答

<質問と回答>

■配置について

○既存の中学校校舎の体育館部分と新しく建つアリーナが、8mほどしか離れていないが、バスの動線や通路の確保は問題ないのか。

→正面玄関、敷地内の車のスペースを生かそうということで今の配置で考えている。狭くなる可能性はあるが、極力そこは確保して計画している。

■運動施設について

○プールや水遊びができる環境はないのか。

○プールはないのですか。

→当面は豊沼小と中央小のプールを活用していきたいと考えている。水遊びは想定していない。

○外の部活用の部室は作るか。

○現時点で部活動は何があるかわからないので、どんな施設が必要か不必要がわからない。

→部室は今のところ野球部（軟式野球部）が使用することは想定しているが、専用の部室としてではなく、共用の更衣室等としての利用を考えている。また、グラウンド横に物置の設置も考えている。

○野球場は硬式ボールに対応させるのか。

→今の中学校が軟式野球部なので、今のところ軟式での対応を考えている。

○防球フェンスは外野側全てにはないのか。

→開放感があつたほうが良いことと、使い勝手を考えて半分程度までとしている。敷地は土手のような盛り上がりがあるので、外野に向かって転がるボールはそれが緩衝帯になると考えている。

○様々なスポーツができる時代になったので、スケートボード、BMX、ボルタリングのようなものを作ってもいいのではないか。

→子ども達が色々と遊べる場、遊具などが必要ということで、外構設計で屋外遊具のあり方について検討したい。

○グラウンドに水飲み場はあるのか。水が飲みたくなった時に、あるといいと感じた

→詳細については、今後考えていきたい。

■遊び場について

○冬は運動場で雪遊びができるか。

→十分可能と考えている。

- 低学年が学校を出て、すぐ遊べるような場所に遊具等をおいてほしい。
- 泥んこで遊べるスペースがあるといい
 - 現時点ではないが、ご意見は運用も含めて参考にしたい。
- 低学年が駐車場や野球場グラウンドの付近など危険な場所を通って遊具スペースまで行くのは危険ではないか。
 - 1階のプレイルーム横からグラウンドに出られるようになっている。

■パークについて

- 果樹園と陸上競技エリアが近いと感じた。果樹園だけが切り離されているように感じた。
 - 最初は果樹園を学習に使える場所としてパーク外に専用に設けたが、パークの一角に果樹園があっても良さそうである。ご意見を参考にさらに使いやすい場所になるように今後検討したい。

■水はけ・除排雪について

- 水はけは大丈夫か
 - 地下の水位が高いので、水はけが悪い。水はけ工事を取り入れて改善していくことを考えている。
- 冬季間の除排雪による雪置き場はどのようになるか。
- 堆雪スペースは足りるか。
 - 北側に堆雪スペースをできるだけ多くとった。限られた範囲で雪を避けながら、雪の多い年など場所が足りない場合は排雪で対応することを想定している。

■屋上利用について

- 校舎棟・アリーナ棟の屋上部分は活用するか。
 - 屋上の活用は落下防止を含めた管理が必要なうえ、目が届かないという恐れがある。そのため屋外の活動は屋上以外で、校舎周りの地上と考えている。また、体育館のテラススペースは2階であり、目は届く範囲ということで活用を考えている。

■駐車場について

- 参観日などの行事の時に駐車場は足りるか。
 - 駐車場は約150台分を設けている。参観日は学年ごとに曜日をずらし、運動会などの全体行事は敷地以外で仮設の駐車場を設けるなどの対応を考えている。

■学校運営について

- フロントガーデン、みんなの花壇は外部の者が出入りするゾーンとなるが、監視役は誰に期待しているか。職員室から見えない場所の危機管理はどのようになるのか。
 - 敷地は外部の人の出入りは制限されないが、校舎はしっかりとセキュリティ対策を行う。校舎内は目を配り、セキュリティ面はよく注意しながら進めたい。

2) 共用部、教室+WS

<感想>

全体

- 明るいイメージができる。
- 各ステージでの空間分けはすごく良いと感じた。
- 年間を通して様々な企業が参画して職業体験ができるといい。

1階

- 特別支援の空間のプレイルームがあり、活用できそう。
- 学童保育のスペースがきちんと確保されていてよい。
- デンがところどころ設置されていて良い。
- ぜひ読書ラウンジに読み聞かせできるスペースに。
- リフレッシュルームが良い。

2階

- 多目的な使用が見込めるピンネテラスが非常に良い。
- テラススペースがあるのが良い。(管理が大変そうだけど)
- 2階から体育館が見える。
- 中1ギャップの解消。学力の定着が期待されている。スポーツに力を注ぐことができる。よってサブアリーナが構想されるのはとても良い。
- 展示スペースがすごくいいですね。(特技が絵を描く子などにとって)

3階

- 子ども達が自由に色々な事を考えて実行できる空間が良いと思う。
- プレゼンスペースが使いやすそう。
- ラウンジ、スポットなど、自由なスペースがすごく楽しそう。
- 地域団体がレクチャーやプレゼンできるのが素晴らしい。
- 異校種との連携が自由に可能となるフリースペースの存在は良い。

<質問と回答>

■教室周りについて

- 教室と教室の間の壁は可動式にならないのか。
- 各教室のこれからの学びの工夫はあるか。一斉授業のイメージでは古い。
→壁は固定されている。教室からリビング空間に出ていくことで広く使える。その間の壁は、大きな襖戸を使って自由に開け締めできるようにし、廊下とのつながりを自由に使えるようにしている。教室は、黒板だけに向かうのではなく、ワークスペースに出ることにより、調べ物や発表の準備をするといった新しい授業形態を作りやすいように考えている。
- 子どもの数が減りクラスが減ると1クラスが40人近くになりとても狭くなる。隣の空き教室まで動かせるといい。

→今回の教室のスペースは8m×10m（今までは8m×8m）で少し広く作っている。40人が入ってもそれほど狭く感じないように考えている。

■特別教室周りについて

○音楽室が狭くないか。

→音楽室についても、現在検討している。小さい方の音楽室が通常教室よりは広めの美術室・理科室程度で、大きい方の音楽室が通常教室よりは広めの美術室・理科室2つ分程度になる。砂川には吹奏楽が盛んな学校があるので、ひとつを大きく、一つを小さくした二つの音楽室を設けることで、器楽の演奏や音楽活動に活用できると考えている。

○各パートの練習など、吹奏楽はスペースが必要になり、楽器の収納スペースは充分かについて心配になった。

→そのくらいの楽器があるかなど、調査しながら検討していきたい。

○特別教室前に廊下を追加しても良いかもしれない。

→廊下専用空間や通路専用空間を作らないという方針を具体化するために、通過するだけの空間ではなく、有効利用ができる空間として少し広めの「スポット」を設けている。

○学童の外に物干しができるスペースがほしい。洗濯物が出てくるため、夏に外で干せるとありがたい。家庭サイズくらいで、スペースがあると活用できる

→検討していきたい。

■職員室について

○職員室・校長室に子ども達が入りやすい工夫はあるか。

→入りやすい構造にしてあるが、入口部分で子ども達と話ができるような配慮をしている。テスト期間は子ども達が入れない期間もあるが、子ども達が先生のところに行きやすい雰囲気になりたい。校長室は、校長先生のキャラクターにもよるが、子ども、保護者、地域の人に親しみやすいような校長室や職員室になるようにしていく。レセプションコーナーまでは入りやすい工夫をしている。

○教員のリフレッシュなどにつながる取り組みや工夫などがあればよい。

→リフレッシュコーナーを設け、一息ついたり、他の先生と語らったりできるコーナーを設けている。

■共用部について

○ひとりでもいられる場所はどこ

→デンと書いてあるスペースなどになる

○子ども達のロッカーの工夫はあるか。

→ロッカーや外套掛けは検討中である。教室後ろに固定棚を作る方法や、フレキシブルに使えるような可動式もふくめて検討している。

○みんなのリビングが3階だとあまり行きにくそう。

○みんなのリビングに少しの閉塞感を感じた。

→3階は8・9年生の空間であるが、1・2階から3階に上がってきってもらうことでタテの関係・交流が生まれることを想定し、あえて3階に交流スペースとしてリビングを設けた。逆に、2階部分の特別教室に、3階の8・9年生が下の階に降りることで他の学年との交流が生まれることを考えた。

○1階にもっと外に出られる出入り口があったほうがいいのではないかと

→南に出るための出入り口を中央付近に設けている。

■トイレについて

○児童・生徒の利用するトイレは男女別か、多用途か。

○1・2階のトイレの入口が隣り合っていないほうがよい。

→1階と2階は隣り合っている正面が壁になっているため目隠しとなり見えにくくなっている。

○扉があっても、隣り合っていると子どもはとても気になるのではないかと思う。3階のように隣り合わないようになっただけがいい。

→隣り合わないプランも可能なので検討したい。

○手洗い場は、トイレの中だけなのか。

→トイレの外で共用できるように検討している。

■アリーナについて

○メインアリーナとサブアリーナにバスケットボールのコートが描かれているが、正規のサイズ感か。

→中学校競技で使える正規サイズのコートである。

○アリーナ棟でのテニスコートとしての利用はできるか。

→床の作りは通常の体育館の床構造を考えている。どのコートを何面作るかについては現在検討中のため、テニスコートとしての活用も検討していく。

■インクルーシブ教育について

○不登校やその傾向がある子の居場所は、適応指導教室になるのか。少し狭いのではと感じたのと、点在すると先生の負担が大きくなると思うので、実態に即したスペースを確保していただくと嬉しい。

→設計上は個別のスペースと共同的な学びが行える広い空間も用意している。それぞれの教室で居にくさを感じ、少し教室から出たい場合は、各フロアに設置されている教師ルームや相談室などを活用し、階の中の移動で負担を減らせるようにしたいと考えている。

○インクルーシブ教育の実現は？特別支援との交流がしにくい気がする。

○ボールプール、みんなが使えたらいい。

→重要な視点だと考えており、特別な部屋がなくても特別支援学級と通常学級の子も達が共に育つ学校を目指していきたい。ボールプールで休み時間に一緒に遊ぶ、お店体験の学習のなかで、それぞれのユニット前でお店を構えて、通常学級の子も達がお客さんになるなど、多様な空間を活かしてインクルーシブ教育を実現していきたい

- い。今回は、設計上でも、特別支援学級に入る扉を大きく開けたり、授業中に外が気になる場合は締めたりできるように、両方に配慮した設計になるように考えている。
- “安心して登校できる”を具体化したのはどこになるのか。学校に行きにくい子は大人が想像している以上に多い印象なので、安心して通える空間としての工夫があったらいい
 - 今回いただいた意見をもとに、安心して、ここでこんな学習をしてみたい、友達と一緒に活動してみたいと感じられるような教育活動をしていきたい。
 - 空間的には、最初の入り口で明るい気持ちになれるように広がりのあるエントランスコートを設け、奥に行くと1人になれるスペースがある、といったかたちで安心できるような工夫をしたいと考えている。

■市民等との交流について

- 市民との交流について、具体的にイメージしていることがあれば教えてほしい。
 - 例えば、3階みんなのリビングでは地元企業の方によるキャリア教育の講義、1階スペースでは地域の方と百人一首を教えていただくなど、各フロアに設置されているスペースを活用しながら地域の方などに先生になってもらうことを考えている。
- 安平では図書室を市民と共有で使え、家庭教室を開催するなど、地域との交流を工夫している。設計の段階から自然に交流できるといい。
 - 地域の皆さんに愛してもらえる学校にするために、ハード面だけでなく、ソフト面も整えていきたい。
- 市民や卒業生に一般開放する日を設置してほしい。せっかくの新しい校舎に卒業してしまうと入れないので、入れる機会を作してほしい。
 - 開校にあわせてお披露目会や市民の見学会などの開催を検討したい。

3) 今後の進め方について

<質問と回答>

- オープンハウス（7月）は子どもも参加できますか
 - 子どもも参加できるので、楽しんでほしい
- 現役職員の意見は聞いているか。若い先生に砂川に残ってほしいので、ぜひ意見を聞く機会を作してほしい。
 - 教育委員会内の小中一貫教育推進委員会の施設建設部会で、校長先生教頭先生を通じて意見をうかがっており、場所によっては直接担当の先生に意見を聞いている。若い先生の意見機会は検討したい。